

滋賀県競技力向上対策本部における 競技力向上基本計画・推進計画の改定について

I 改定の経緯

- 標記計画では開催年までの間を準備期、充実期、躍進期に区分し、各期の終了後に見直しを行うこととしており、充実期(平成29年度～令和2年度)が終了する令和2年度において基本計画・推進計画の見直しを行う。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により本県における国スポ・障スポの開催年が2025年となったことを受け、計画期間の変更に対応して、令和7年開催の両大会における目標達成に向けた指針となるよう改定を行う。

〔参考：充実期までの段階的目標達成状況〕

開催年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
開催県	長崎	和歌山	岩手	愛媛	福井	茨城	-
計画での位置づけ	準備期			充実期			
	20位台			10位台			
年次目標	-	20位台		20位台前半			10位台
総合成績	35位	24位	33位	39位	31位	30位	-

II 改定内容

1. 躍進期の始期設定

令和3年から4年間を「躍進期」とし、必要な取り組みを加速

- 充実期における段階的目標は達成できていないことから、延期により与えられた1年間を有効に活用できるよう、令和3年以後の4年間を「躍進期」と位置付け、この期間において実施すべき方策を早期に明らかにし、効率的・効果的に事業に取り組む。

2. 段階的目標

- (1) 第79回国民スポーツ大会に向けた段階的目標

本県の得点推移と先催県の平均順位を勘案して修正
 延期の影響を受けたターゲットエイジの活躍を期待し、令和6年の目標を上方修正

	R3 三重	R4 栃木	R5 鹿児島	R6 佐賀	R7 滋賀	R8 青森
現行	10位台	10位以内	8位以内	5位以内	1位	15位以内
	1200点	1500点	1600点	1800点	2400点	1200点
改定 (点数は参考値)	20位台前半	10位台	10位以内	3位以内	1位	15位以内
	(950点)	(1,100点)	(1,400点)	(1,900点)	(2,500点)	(1,200点)
(参考)	31位	23位	22位	12位	1位	14位
先催5県平均	861点	952点	1000点	1280点	2409点	1190点

(2) 第24回全国障害者スポーツ大会に向けた段階的目標

個人競技は、全種目の参加を維持しながら選手を拡充
 団体競技は、近畿予選会突破種目数増加を図り、全国大会で活躍できる競技力を養う

		R3 三重	R4 栃木	R5 鹿児島	R6 佐賀	R7 滋賀	R8 青森
現行	合計	12種目	13種目	14種目	15種目	23種目	15種目
	個人	10	11	11	11	11	11
	団体	2	2	3	4	12	4
改定	合計	14種目	15種目	16種目	17種目	24種目	16種目
	個人	12	12	12	12	12	12
	団体	2	3	4	5	12	4

3. 新たに盛り込む方策

充実期までの成果と課題を踏まえ、既に方策として記載されている事項は引き続き実施
 躍進期の期間中に追加して取り組むべき項目を新たに追加、推進方策を拡充

(1) 選手の育成・強化

① ジュニア選手の発掘・育成・強化

- 滋賀国スポで中心となる年代の選手の重点強化に努め、滋賀国スポに向けた特別強化として、国内外の優秀チームを本県に招聘するなどの取組を支援する。

【推進方策】 追 トップレベルチーム強化試合の実施(少年)

- 重点的に強化してきたターゲットエイジ強化選手が2024年および2025年に県代表として出場するための支援を強化する。

【推進方策】**追** 2024 ターゲットエイジ重点強化

- ・ 新たに指定する 2025 年のターゲットエイジ強化選手と併せ強化事業を展開するとともに、優秀な選手の県外流出の抑止に向け、高校進学に際しての進路指導が円滑に行われるよう、選手が所属する中学校との連携や働きかけを強化

- 上位入賞が期待できる県内の高校所属の競技力の高い選手を指定して支援する。

【推進方策】**追** 高校生トップアスリート支援事業

- ・ 国民体育大会等で 8 位入賞以上が見込める選手、またはその選手の加入によりチーム成績 8 位入賞以上が見込める選手を個人指定し、競技活動を支援

② 成年選手の育成・強化・確保

- 上位入賞が期待できる成年選手に対する個人指定強化対策を充実する。

【推進方策】**拡** 選手指定強化対策

- ・ 新たに雇用する選手を中心に、全国トップクラスの実績を有するアスリートについて、国際大会への参加や日本代表選手としての活動など、選手の実績や活動内容に応じた支援を実施

- 自らの競技活動に取り組むとともに、その競技の指導に従事するアスリートの雇用機会を創出する。併せて、国スポ後の県内への定着を図る。

【推進方策】**追** スポーツ特別指導員設置

- ・ 全国大会等で個人 4 位・団体 8 位以上もしくは同等の競技成績を収め、第 79 回大会での入賞が期待できるトップアスリートを（公財）滋賀県スポーツ協会が雇用
- ・ 県スポーツ協会事務局又は指定管理施設に配属、自らの専門競技の強化活動および運動部活動等における県内選手の強化育成に従事

③ 障害者スポーツの普及・選手の拡大

- 2025 年の全国障害者スポーツ大会において多くの選手が出場し活躍できるよう、育成・強化スタッフの充実を図るための支援を行う。

【推進方策】**拡** 選手・スタッフ構想の具体化と確保に向けた方策の検討

- ・ 県障害者スポーツ協会「競技力向上委員会」において行う、各競技の実態把握と選手構成やスタッフの確保に向けた計画の検討を支援

(2) 指導体制の充実

① 指導者の確保

- 専門的な競技指導ができる教員の積極的な採用を図る。
 - ・ 県教育委員会「スポーツ特別選考」のさらなる活用

② 指導者の養成・資質の向上

- 高い見識と指導力を持つ優秀な指導者を定期的に招き、選手に対する指導実践や指導者向け講習会等を実施する競技団体に対し支援を行う。

【推進方策】 ③ スーパーアドバイザーコーチ招聘

- 女性指導者養成の取組として研修会を開催するとともに、女性の国スポ監督指導者資格取得が促進されるよう、各競技団体に働きかけを行う。

③ 組織的な競技力向上の推進

- 競技団体が行う、他府県チーム（選手）の情報収集や戦力分析、優秀選手の人材獲得のための視察等に対し支援を行う。

【推進方策】 ④ 強化スタッフ育成

- 国スポ・障スポに向けた競技力向上の取組過程において、組織力が不足している種目を中心に競技団体の組織強化に向けた対応を行う。

(3) 拠点の構築と環境の整備

① 強化拠点の構築

- 強化拠点校としての役割を充実させるとともに、2025年後も競技の拠点となるような魅力づくりにつながる支援を継続する。
- 企業・大学・クラブ指定による、成年競技強化拠点に対する支援を継続する。

② 医科学サポートの充実

- 医科学分野での競技力向上をサポートするスタッフをさらに充実させ、強化練習会や大会等に派遣するスタッフが効率的・効果的にサポートに従事できる条件整備を引き続き実施する。

③ 選手・指導者の参加体制の整備

- 強化活動の長期参加に対応できるような教員等の職場環境の整備や、学校に所属する選手が参加しやすくなる条件の整備に向け、関係機関との連携を強化する。

4. 組織の整備

「競技団体会長会議」の設置

- 各競技団体の主体的、自律的な取り組みを促進するため、対策本部内に「競技団体会長会議」を設置、より積極的に目標の共有や士気の向上を図る。